

# 会議録

1. 会議の名称 第3回普通河川兩山川災害復旧事業に係る検証委員会
2. 開催日時 令和3年10月25日(月) 午後2時00分～午後2時50分
3. 開催場所 熊取町役場本館3階 議場
4. 議題 (1) 提言書(案)について  
(2) その他
5. 公開・非公開の別 全部公開
6. 傍聴者数 11人
7. 議題の概要

## 案件1 提言書(案)について

・はじめに

・技術検証対象事項【Ⅰ～Ⅶ】

- Ⅰ. 美熊台自治会からの「河川法面の異常箇所現状調査報告と今後の対策について」の要望に対する現場対応(定点観測及び碎石充填)及び原因究明調査方針について
- Ⅱ. 応急復旧工事における応急工法について
- Ⅲ. 本復旧工事に係るボーリング調査数、仮設計画について
- Ⅳ. 本復旧工事に係る本復旧工法について
- Ⅴ. 本復旧工事における工事用道路の杭橋脚傾き事象について
- Ⅵ. 復旧範囲の法面表土崩落及び崩落範囲拡大防止のための土留鋼矢板について
- Ⅶ. 未被災箇所における災害予防のためのアンカー工について

・追加事項(①～③)

- ① 当該事業の影響のあった家屋の擁壁等の復旧工法と安全性の確保について
- ② 復旧した構造物に影響がある地下水の水抜き等の今後の対応について
- ③ 復旧した構造物の今後の適正な点検管理方法について

・事務検証対象事項【Ⅰ～Ⅲ】

- Ⅰ. 応急復旧工事及び本復旧工事に係る測量設計業務の発注方法について
- Ⅱ. 応急復旧工事の発注方法について
- Ⅲ. 当該災害復旧事業のように大規模な復旧事業に係る担当体制について

・おわりに

【審議結果】

普通河川兩山川災害復旧事業に関する提言書(案)については、普通河川兩山川災害復旧事業に関する提言書として委員全員の承認決議されたため、委員会より町長に提言書を委員会終了後、提出

案件2 その他

・主な意見・補足・追加説明

対象事項	主な意見・補足・追加説明		回 答
はじめに	1	特になし。	
技術検証Ⅰ	2	特になし。	
技術検証Ⅱ	3	特になし。	
技術検証Ⅲ	4	特になし。	
技術検証Ⅳ	5	<p>提言として書いてあることは、これでいいんですけども、大型ブロック積みの施工に伴う床堀勾配からの内容で、今回の場合は、勾配を急にする方が安全だった可能性も考えられると、その通りなんですけど、この文言について後になってどういう意味かわからないことが起こるかもしれないので、補足の説明させていただきます。</p> <p>今回の計画が、地山と盛土との境界に非常に迫った切土勾配になっている。そうすると、地山と盛土との境界というのは水が流れて、地中侵食が起きている場所なので、そこの接地の摩擦強度が、かなり小さくなっている恐れがある。手前に盛土がまだ残っていて、盛土の中を切らなくてはならないすべりの場合には、盛土の強度が抵抗になるので、要するに実際の安全率的に急な方が高くなった可能性も考えられるため、発言の補足させていただきます。</p> <p>文章では1行足らずなんですけども、説明するとすごく長くなる話なので、ここはわかりにくいかなと思ったので、説明、補足説明させていただきました。</p>	

・主な意見・補足・追加説明

対象事項	主な意見・補足・追加説明		回 答
技術 検証 Ⅳ	6	<p>盛土が下にあったときにそれが抵抗するというので、緩い場合でもそういうことが起こり得るという、そういう補足だと、それは今回の検証の中でも把握していただいているということよろしいでしょうか？ この本復旧の部分が一番、今回のメインの部分になるかと思われます。</p>	
技術 検証 Ⅴ	7	<p>特になし。</p>	
技術 検証 Ⅵ	8	<p>特になし。</p>	
技術 検証 Ⅶ	9	<p>特になし。</p>	
追加 事項 ①	10	<p>特になし。</p>	
追加 事項 ②	11	<p>特になし。</p>	

・主な意見・補足・追加説明

対象 事項	主な意見・補足・追加説明		回 答
追加 事項 ③	12	特になし。	
事務 検証 Ⅰ～ Ⅲ	13	<p>この提言そのものへのことではないんですが、最近のこういう事故を見ての感想を述べさせていただきます。</p> <p>皆さんご存知の和歌山市の送水管の破断、断水について、気になっていろいろ調べました。基本的にああいうことが起きるということを念頭に置いて本当に維持点検の調査をしたのかということが非常に気になります。だから適切な維持点検の調査というのが非常に大事になる。</p> <p>隣の橋から望遠鏡で、漏水がないかだけを見てたということですけど、橋梁全体としての構造からすると、水漏れだけではないですよ。橋梁の劣化というような問題が結局抜けてた。だからそういう観点で、やっぱり常日頃から大事なインフラ施設の点検などを意識しておいてほしいと思います。</p> <p>それと、万一、こうなったらということの対応策も、シミュレーションをしておく必要があるのかなというのを、最近の事例から痛感しました。ですから、そういうことも絶えず専門家としては、イメージしておくことが大事だなというのは、和歌山市の事故の教訓かなと思いますね。</p> <p>絶えず情報を集めながら、勉強してほしいというのが、検証委員としての思いであります。</p> <p>特に、この提言書に関わることでありませんので、聞いておいていただければと思います。</p>	

・主な意見・補足・追加説明

対象事項	主な意見・補足・追加説明	回 答
おわりに	<p>14</p> <p>災害が起きて、その災害復旧ということで、すごく急いでるという事情が当然あります。こういう災害に関わるものでは常にそうなんですけども、大丈夫だと思いたい心が一方であって、危ないと思う心が大きすぎると、事業が進んで行かず、そのちょうどいいバランスを取ることは、やはり相当難しい話だと思います。</p> <p>私が委員会で、お聞きして難しさは今説明した通りなんですけども、その何を守る、どこに被害が発生してはいけないのかということも、もう少し広げて、今回の場合には上の家が被害を受けてはいけないというのはかなり大きかったんですが、実際仕事が回ってる中ではその斜面の中で物事を考えてるということが、どうしても多かったですように感じてます。</p> <p>こういう確実な方法がないものでは、守らなくてはいけないもの、被害が出てはいけないものをターゲットに絞り、そこに何の被害が起こるようなことをシナリオとして、あり得るのかどうかということを考えるということが、災害が大きくなるのを防ぐ非常に重要なポイントかなというふうに思ったので、検証委員会の中で、安定解析をもっと広げた方がいいとか、一つの円弧に絞らない方がいいとかって話をさせていただきました。</p> <p>最初に言いましたように、ピタッとしたこうすればいいという答えがあるわけではないんですけども、そういうことを教訓として、覚えておいていただければありがたいというふうに思います。</p>	
おわりに	<p>15</p> <p>終わりにの最後の文章ですよね。やはり、まだ一番上の肝心な住宅の方の復旧が終わってませんので、先ほど途中でありましたように、地盤の動きがまだ少し不安定であれば、少し待たないといけないかもしれませんが、何らかの対策をとって、一刻も早く上の住宅の復旧をしていただければというふうに思います。</p>	
その他	<p>16</p>	<p>案件2 その他について事務局より説明          雨山川災害復旧事業に関する提言書については、熊取町ホームページ及び住民情報コーナーにて公表します。</p>

8.	委員会の情報	名称 根拠法令等 設置期間 所掌事務  委員数	普通河川雨山川災害復旧事業に係る検証委員会 普通河川雨山川災害復旧事業に係る検証委員会設置要綱 令和3年5月17日～普通河川雨山川災害復旧事業に係る検証が完了するまで (1) 当該災害復旧事業における工法や発生事象に対する対応等、技術的観点に係る町の内部検証結果を基に、専門更なる検証を行い町長に提言する。 (2) 当該災害復旧事業における発注や組織体制など町の内部検証結果を基に、意見交換を行い町長に助言する。 (3) その他、当該災害復旧事業について町長が必要と認める事項に関すること。 3人
9.	担当課	都市整備部水とみどり課	